

2章 栄養補給法

1. 解答 (3), (5)
2. 解答 (1), (5)
3. 解答 (2), (4)
4. 解答 (5)
5. 解答 (1), (4)

3章 臨床検査

1. 解答 (1), (5)
2. 解答 (1), (3)
3. 解答 (2), (3)

4章 食道・胃・腸の病気

1. 解答 (1), (3)
2. 解答 (4), (5)
3. 解答 (2), (5)
4. 解答 (5)
5. 解答 (4)
6. 解答 (4)
7. 解答 (2)

5章 肝・胆・膵の病気

1. 解答 (2), (5)
2. 解答 (2), (3)
3. 解答 (2), (4)
4. 解答 (1), (4)
5. 解答 (2), (4)
6. 解答 (2), (4)

6章 糖尿病、肥満症および痛風

1. 解答 (3), (5)
2. 解答 (2)
3. 解答 (4)
4. 解答 (1), (3)

5. 解答 (2), (5)
6. 解答 (2), (4)
7. 解答 (3), (4)

7章 脂質異常症と動脈硬化症

1. 解答 (3) と (4)

解説 体脂肪の分解はホルモン感受性リパーゼにより起こり、インスリンで抑制される。減量には、インスリンの低値が必要で、当分の摂取は、逆行する。VLDLの脂肪組織への取り込みは、リポプロテインリパーゼにより触媒され、インスリンにより維持・増強される。腸管でのカイロミクロン生成には、アポB48が必要で、肝でのVLDL合成にはアポB-100が必要である。両者とも、そのほかにTGとコレステロールが必要である。(3), (4)は正しい。

2. 解答 (3), (5)

解説 門脈から吸収されるのは、中鎖脂肪酸(C:8-12)であり、通常の食品に含まれる長鎖脂肪酸は、カイロミクロンとしてリンパから取り込まれ、静脈から右心房に入る。魚介類に多い脂肪酸はn-3であり、肉類に多いのはn-6で、n-3/n-6比は0.25以上が望ましい。後者からは、血小板を凝集しやすいトロンボキサンA₂が、前者からは、凝集を抑えるプロスタサイクリンが生成される。高TG血症では、VLDL中のTGが高く、このTGとHDL中のコレステロールが交換する(リバースコレステロール転送タンパク, RCTP)ため低HDL血症となる。この欠損症では逆に高くなり、HDLは80 mg/dL以上となり、日本人に多い。(3)と(5)は正しい。

3. 解答 (3)

8章 循環器の病気

1. 解答 (3), (4)

解説 脳打撲後に出血しやすいのは硬膜下血腫で、クモ膜下出血は小動脈瘤の破裂に起因する。ラクナ梗塞の病巣サイズは1.5 cm以下である。右手が利き手の場合、右脳に言語中枢が発達するのが通常で、右脳障害で、言語失調が起こりやすい。(3), (4)は正しい。一過性脳虚血(TIA)は、アテローム血栓性脳梗塞の初期病態と考えて良い。

2. 解答 (4), (5)

解説 塩分感受性は、塩分3~5 g/日、1wに比し14~15 g/日、1w摂取時に明らかに平均血圧(拡張期血圧+収縮期血圧-拡張期血圧/3)が高い場合に感受性ありと判定されるが、低塩分指導は、感受性なし群でも、総合的に有益であり、実施してよい。dipperの判定は、夜間の平均血圧が昼間の血圧に比し、1割以上低い場合に判定され、正常な現象であり、起立性低血圧とは、関係がない。高血圧の判定は、座位で機会を変えて3回以上測定し判定する。(4), (5)は正しい。

3. 解答 (1), (3)

解説 利尿薬は循環血液量を減らす。野菜はKを多く含み、抗ナトリウム作用を発揮するため推奨される。降圧薬は、適切に選べば併用は問題ない。(1), (3)は正しい。グレープフルーツは薬剤代謝を抑える成分を含み、Ca拮抗薬はこの影響を受けるので、薬の効きが大になる可能性があり、食べ過ぎないように十分注意する。

4. 解答(2), (3)

解説 脳炎と尿量は関係ない。尿タンパクは 300 mg/日または 300 mg /gCr 以上，妊娠中期以降，高血圧とタンパク尿が見られたときに本症と診断する。

(3) の問題文で誤りがあります。誠に申し訳ございません。250 mg は 300 mg と訂正します。

5. 解答 (3), (5)

9 章 腎臓と尿路の病気

1. 解答 d
2. 解答 c
3. 解答 b
4. 解答 (1)
5. 解答 e
6. 解答 (4)

10 章 血液の病気

1. 解答 (1), (3)
2. 解答 (1), (4)
3. 解答 (1), (3)
4. 解答 (1), (4)

11 章 免疫とアレルギーの病気

1. 解答 (3), (5)
2. 解答 (2), (5)

12 章 呼吸器の病気

1. 解答 (2), (4)
2. 解答 (1), (2)
3. 解答 (4)

13 章 内分泌系の病気

1. 解答 (3), (5)
2. 解答 (2), (3)
3. 解答 (3), (4)

14 章 心因性の摂食障害

1. 解答 (1), (3)
2. 解答 (1), (4)
3. 解答 (4), (5)
4. 解答 (1), (4)

15 章 骨・筋・歯の病気

1. 解答 (1), (4)
2. 解答 (2), (4)
3. 解答 (2), (5)
4. 解答 (4), (5)

16 章 脳・神経の病気

1. 解答 (3), (5)
2. 解答 (3), (4)
3. 解答 (3), (5)

17 章 小児の病気

1. 解答 (2), (5)
2. 解答 (1), (2)
3. 解答 (5)
4. 解答 (1)

18 章 外科と栄養管理

1. 解答 (3)
2. 解答 (3)
3. 解答 (1), (3)
4. 解答 (5)
5. 解答 (5)